

家族そろって 三里塚-ジヤガイ掘り!

太陽と緑の大地で反対同盟の生きとせ連帯、交流を

三里塚空港に反対し、騒音公害と闘いつつ血と汗で育ててきた土地と農業を守り、家族ぐるみで長期の闘いをつづけている三里塚農民一とりわけ反対同盟婦人行動隊の皆さんとの交流・連帯をつくり出してゆくことは、勤労千葉の家族組合運動にとって大きな意義があると思います。これまで団結運動会のたびに、多くの新鮮な野菜を寄贈していただいておりますが、今回は、熱い交流の中から、三里塚の闘いを学び、ハイキングをかねて馬鈴薯掘り大会を行ってゆきたいと思っております。

三里塚反対同盟の石橋副委員長の御好意により、勤労千葉に対し農地(畑)一五〇坪の提供をうけ、過日三月一八日に、天台家族会を中心に、馬鈴薯の植え付けを行い、同時に、反対同盟の運動の次代を担う青年のかたがたとの交流を有意義に展開してきました。その植え付けたいモが、大きく成長し、収穫時期を迎えました。勤労千葉は、「本部」暴力集団の組織破壊一介入攻撃に抗し、全組合員がかかんに闘い抜いてき

ていますが、こうした中で、サークル活動の活性化を目指した取組みを強化してきています。六月一八日は佐倉支部を含めた野球大会、二二日にはソフトボール大会がおこなわれました。七月一日のイモ掘り大会には、バスを用意し三里塚現地へ向い、組合員・家族が気軽に参加出来る、そうした、盛大なサークル行事にしてゆきたいと思っております。各支部は、積極的に取り組むと同時に、種々の組合・サークル活動を通じて勤労千葉家族組合の結成をはかってゆこうではありませんか。

7/1 9時30分 千葉駅正面 集合
旧電務区前

※各自昼食、軽作業出来る軽装。
※雨天のときは7月8日に延期。

無料バス手配
これ大型だよ!

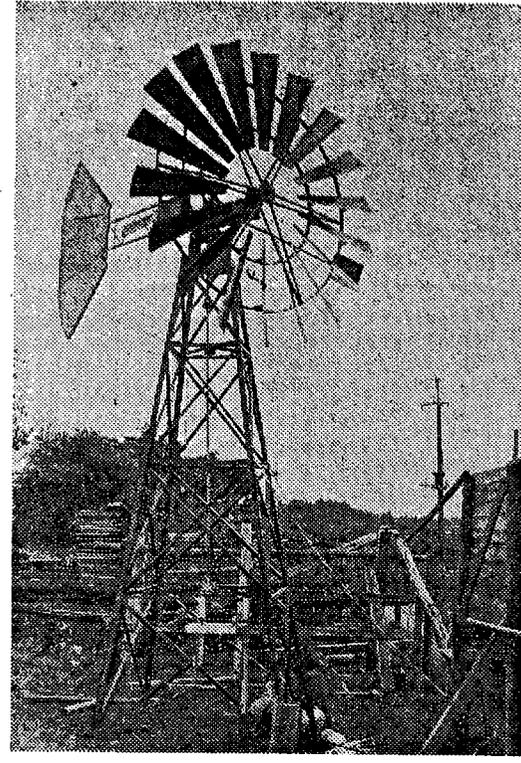
7月1日

政府・空港公団の二期工事着工の野望を打ち砕き、農地を守り抜くため、反対同盟は、二期工事予定地である木の根部落に、農民の命ともいえる用水のための風車付井戸を作り、作物を守るという面期的な闘いを開始してきています。その工事起工式が、六月一七日、三里塚現地において行われ、勤労千葉からは、関川委員長が出席し盛大に開催された。

反対同盟、二期工事粉砕 農地死守を宣言!

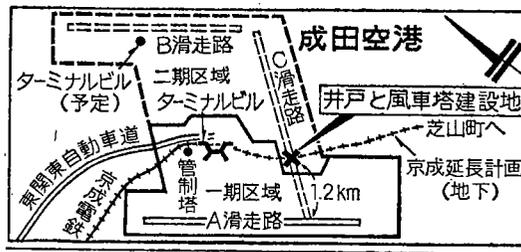
権力は、不当にも、「建設中止」強行した場合検査すると叫び、介入を行ってきたが、意気盛んな反対同盟と支援の約四〇〇の結果の中で粉砕されていった。農民にとって欠かせない水を確保して、この土地に根を下した反対運動を続ける反対同盟の不屈の闘魂に対し、関川委員長は、玉串を捧げこの工事の一日も早い完成と共闘の強化を明らかにした。

木の根かんがい工事起工式。弾圧をはねかえしかちとられる!
6月18日



大井戸と風車塔

成田空港反対同盟は、この「二期工事」の野望を打ち砕き、農地を守り抜くため、反対同盟は、二期工事予定地である木の根部落に、農民の命ともいえる用水のための風車付井戸を作り、作物を守るという面期的な闘いを開始してきています。その工事起工式が、六月一七日、三里塚現地において行われ、勤労千葉からは、関川委員長が出席し盛大に開催された。



成田空港の根地区で、横風用滑走路(長さ三三〇〇m、幅六〇m)が全滑走路(使用中)と交わる地点から東方約二二〇mの滑走路予定地。しかも、その地点は京成電鉄が将来、地を借りて空港側の芝山町へ延長される計画路線上にある。

反対同盟の計画は、井戸は直径約十五m、深さは約五m。井戸の上は建設するコンクリートの基礎式風車塔は高さ約十五m、全体の幅は約二十m。早大の井戸は、滑走路と地中の鉄道の障害とならなければならぬ。風車も建設された。

建設費は五百万円、三月二十五日の開通後、毎年約数億円を参加者がカンパを捧げ、井戸の建設費を賄う。

成田空港の最大の反対闘いは、二期工事区域に予定の滑走路(と、横風用)の滑走路(を)建設する計画だが、なかでも航空機